THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A.

THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

INTERNATIONAL KOFU21 Charterd 1990

山梨県甲府市中央５丁目４-１１
山梨ＹＭＣＡ青少年センター
〒400-0032　TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題：私たちは変えられる　Moon Sang-bong（韓国）
アジア太平洋地域会長主題：アクション！　田中　博之　（東京多摩みなみ）
東日本区理事主題：為せば、成る　宮内　友弥　（東京武蔵野多摩）
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである　廣瀬　　健　（甲府２１）
甲府２１クラブ会長主題：世代を超えて、　笑顔で奉仕　野々垣健五

甲府21ワイズメンズクラブ
2018年12月会報
強調月間
EMC/M

今月の聖句

暗闇に住む民は大きな光を見、死の陰の地に住む者に光が射し込んだ。

マタイによる福音書4章16節　岡 信男　選

会長挨拶　― つながり･出会い･尽くそう ―

甲府21ワイズメンズクラブ会長　野々垣健五

野々垣健五会長

小雨に煙る 12 月 3 日（月）、山梨ＹＭＣＡの事業の一つである放課後児童デイの施設「田富恵みの家 りんごの木」が、中田純子姉を中心とする女性スタッフの努力と協力でスタートできました。

この施設は、中央市布施にある妙泉寺（日蓮宗）の前にあります。不動産オーナーは地元の河西軌一さん。この方と私と荻野メンは、共に岡島で職（食）を共にした仲間です。この河西家の場所を見付けてくれたのは、私の先輩であり、又、私の義母・小尾榮を最後まで面倒を見てくれた山本貞夫さんです。この建物の殆んどは古民家の範疇に入ります。600 坪を超す敷地には、様々な木々が植えられた庭があります。この古民家に 12 名の児童を受け容れる為、又、オーナーからの種々な要請を叶える為には、沢山の工夫と労力が必要とされましたが、佐藤メンのワイズメンズにおける「奉仕・尽くそう精神」と頑張りとで、使い易い施設に仕上がりました。市川大門線を通り、田富に入ったら左手にあります。是非一度、寄ってみて下さい。ワイズでは「楽しく」「尽くそう」が本当に実践出来ているだろうか？中田さん、平賀さんの若い気を発揮してくれるスタッフには、ただただ感謝です。大したものです。皆で更にもっと“きらきら”を応援していきましょう。12 月 15 日（土）には、松本クラブが 30 周年となります。私共の 2 年先輩です。大勢で伺って、お祝いを申し上げ、いっぱい勉強もさせてもらいましょう。

2018年12月クリスマス例会プログラム

日時：2018年12月9日（日）17:00～

会場：岡島ローヤル会館
司会：後藤哲夫メン　奏楽：古屋律子メネット

【第１部　礼拝】
前奏
黙祷
讃美歌　231 番
聖書　「ルカによる福音書 1 章 28～38 節」
お祈り
奨励　「マリアの驚愕と承服」
インマヌエル甲府教会　岡　信男牧師
讃美歌　265 番
後奏

【第２部　例会】
司会：後藤哲夫メン
①開会点鐘　野々垣健五会長
②ワイズソング
③ワイズの信条
④会員スピーチ　奈良田和也メン
⑤会長挨拶　野々垣健五会長
⑥ゲスト･ビジター紹介　野々垣健五会長
○山梨大学吹奏楽団による演奏（25 名）
演奏者紹介：廣瀬　健メン
御礼　野々垣健五会長
⑦諸報告

休憩（5 分）

【第３部　祝会】
①感謝状贈呈（バザー感謝）　野々垣健五会長
②ゲスト挨拶　沼田三郎様
③ハッピーバースデー（一言あいさつ）
④乾杯　荻野次期会長
⑤食事・歓談
⑥バイオリン演奏　飯田華代子様
⑦オークション　進行：薬袋メン　赤根メン
⑧ＹＭＣＡの歌
⑨閉会点鐘　野々垣健五会長

2018年11月例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記　寺田喜長

例会の様子
＝2018 年 11 月 6 日　山梨 YMCA 青少年センター

全員で支援したＹＭＣＡバザーへの熱気冷めやらぬ中、30 人を超える出席者が有り、先月復帰された松村豪夫メンの司会進行にて開会、相川メンの聖句朗読と一言、寺田メンのスピーチ、そして野々垣会長から、あずさ部会とＹＭＣＡバザーが会員総力にて滞りなく終わる事ができ感謝ですと挨拶があり、今後の種々の行事にも同様協力願いたいとの要請がありました。今月は甲府一高あおぞら会会長の露木和雄氏をお招きして卓話をして頂きました。認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワークが北杜市白州町に建設しているレスパイト施設「あおぞら共和国」を支援する活動をされている主に甲府一高卒業生を中心にしたグループを紹介下さいました。この施設は今まで一般の宿泊施設で開催していましたサマーキャンプが他の宿泊者より「汚いと」か「気持ち悪い」との苦情があることで肩身の狭い思いをし、折角の楽しいひと時が気まずい思い出に成っていましたが、誰に気兼ねすることなく家族で楽しいキャンプを過ごすことができる施設で、すでに 3,000 人を超える方が利用されているそうです。一年中利用ができ、施設が NPO 認定法人であるので使用料が無料であり、難病の方、障害にある方と家族と気兼ねなく過ごすことができる施設として利用されています。「あおぞら会は」施設運営を応援する為に会員を募り、資金援助の活動をされています。県内にこの様な施設があることを覚えこの機会に応援ください。

諸報告は会長より今期後半の行事遂行を会員総力で協力願いますと要請がありました。露木メンよりバザーへの協力について御礼があり、併せて小澤会計よりバザー売り上げの報告がありました。

日時：２０１８年１１月６日（火）１９：００～
会場：山梨ＹＭＣＡ青少年センター
【出席者】
<メン>相川、赤根、荻野、小澤（公）、小澤（智）、功刀、輿水、後藤、駒田、作田、佐藤、清藤、茅野、露木、寺田、奈良田、野々垣、廣瀬、古屋、藤原、松村（豪）、薬袋、山県、米長
<メネット>荻野、清藤、野々垣、廣瀬、松村（仁）
<ゲスト>露木和雄氏（卓話者）、飯倉様

2018年11月例会ゲスト卓話要旨

「認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク」(以下、「ネットワーク」と表記) を中心にした７年越しの運動である、難病の子供を持つ家族のためのレスパイト施設を日本で造るという《夢》プロジェクトが、篤志家から寄付された北杜市白州町鳥原の 3,000 坪の土地に実現しました。

このプロジェクトには私の小学校からの友人である神奈川県在住の甲府一高出身の小口弘毅小児科医が深く関わっていました。当初は、資金面に全く当てがなく夢物語と思われていましたが、関係者の熱意と努力により寄付金も短期間で集まり建設に着手できました。

着工にあたり、県や地元自治体との開発許可や事務折衝などに小口弘毅医師の弟の博氏（小口マタイ（株）社長　甲府一高昭和 47 年卒）の働きが大きな力となりました。この施設は、そこで難病のこどもを持つ家族が気兼ねなく安心して滞在し、大自然の中で心身ともにリフレッシュ出来るもので、「あおぞら共和国」と名付けられています。

現在、施設は 6 棟で、昨年中に施設利用者は累計 3,000 人を超えました。この施設の管理運営主体はこのネットワークで、施設修繕、光熱水費、貸布団レンタル代金、管理人（小口 3 兄弟の）末弟青柳均氏の奥様）への報酬など年間維持管理・運営費は 100 万円を超えますが、全てが民間による寄附金や募金で賄われています。

この「あおぞら共和国」の運営活動を支援するため平成 27 年 2 月に結成された「甲府一高あおぞら会」は同高卒業生を中心に、現在 370 名を超える会員を数えます。会の活動としては会費や同窓会イベント時の募金を基にしたネットワークへの寄附の他、毎年 4 月に行われる会員および車いすの子供たちやその家族、介護ボランティアなども参加する日野春駅から「あおぞら共和国」迄の新緑ウォークの他、春・秋の「あおぞら共和国」での草刈り作業への参加などを積極的かつ継続的に行ってきました。今後ともワイズメンズクラブの皆様のご協力をお願いいたします。

卓話を行う露木和雄氏
＝2018 年 11 月 6 日　山梨 YMCA 青少年センター

岡 信男牧師 プロフィール紹介

岡 信男牧師

1973 年兵庫県加古川市生まれ。神戸学院大学経済学部卒。高校 1 年夏、北岳登山を機に、山梨に親近感を抱く。

大学在学中の 1995 年、神戸市垂水区にて阪神淡路大震災を経験。

電線メーカーに 5 年勤務の後、インマヌエル聖宣神学院にて 4 年の勉学を経て、2004 年にインマヌエル綜合伝道団の牧師となる。

現職の甲府教会には 2012 年に赴任。山梨英和中学校・高等学校の非常勤講師（聖書科）を兼務。

山梨YMCAバザーに思う

甲府21ワイズメンズクラブ　佐藤重良

山梨YMCAバザーの様子
＝2018 年 11 月 3 日　山梨 YMCA 青少年センター

今年も 11 月 3 日に山梨ＹＭＣＡのバザーが開催されました。

毎年恒例の重要なイベントです。バザーを成功させ、少しでも山梨ＹＭＣＡに貢献しようと甲府２１ワイズメンズクラブの準備は 9 月から始めました。今年の売り場は１Ｆと２Ｆで福袋と風船のサービス、ディズニーの特別券・安穏芋（北杜市長坂育ち）・焼きイモ・大根・白菜・かぼちゃ・百目柿・ポインセチア・シクラメン・古書・メネットさんの手作りのクッキーとコーヒーなどでした。

そのなかでもディズニー特別券と白菜・大根は飛ぶように売れました。甲府２１の皆の力の結集で大いに賑わって終了しました。甲府２１の会員と福袋を提供いただきました渡辺商店様と畑を貸していただき作業のご指導いただいた沼田様と長坂のＴさんに感謝と御礼を申しあげます。

以前にも投稿しましたが、私はバザーでは売り上げを出し、山梨ＹＭＣＡに貢献することが目的と考えて実行してきました。しかし、バザー開催に参加して 4 回目となりますが、その考えが変化しました。根本的に利益をあげることが目的ではないのではと思うようになってきたのです。それは大根の育成と販売をして思いついたことであります。今年（今年は第 2 回目）も境川の沼田鉄筋の沼田会長様の畑をお借りして大根を種蒔きから収穫・販売まで、山梨ＹＭＣＡのきらきら教室（障害児童教室）と協働作業で実施しました。種蒔きは 9 月 7 日に実施し、間引き 2 回目と施肥・土寄せし、11 月 2 日に収穫し、11 月 3 日にバザーで販売しました。

今年の大根の種は「冬物語」としゃれた品種でした。大根はすくすくと育ち、地元の農家の人もびっくりするような立派なものに育ってくれました。大地と自然の恵みときらきら教室の子供たちの情熱が通じたのか、見事なものを収穫できました。

バザー当日にお客さんの主婦からもお褒めをいただきました。「食品スーパーで売っているものより大きく、安い」と。

また、会員の奥様が調理しても他にはない柔らかさでありおいしいと褒められました。

バザーのために大根を育成したのですが、色々なものを教えられました。年に一度の開催のバザーは資金を集めて山梨ＹＭＣＡの事業に貢献することが目的ですが、それまでのプロセスが大切ではと感じるようになりました。

今回大根の育成を通じて教えられたことは、子供たちと一緒に育て収穫販売することにより子供たちの成長に何か役に立っているのではと思いました。畑で大きくなった大根を抜いた時の笑顔と大きな歓声を聞いて、ともにやってよかったと安堵しました。また調理して美味しかったと言われるとさらに安堵しました。販売して貴重な資金を得ることができ、結果的にささやかでありますが山梨ＹＭＣＡに貢献ができました。

バザーとは、自分たちで労力をかけ販売し、結果的にその収益をＹＭＣＡに貢献する事ではないかと思います。

また年に一度、山梨ＹＭＣＡに来ていただいたお客様に、山梨ＹＭＣＡの本来の事業活動を知って頂くようにもっともっと、販売の他、広報活動に努力して山梨ＹＭＣＡのファンを増やす機会にしてはと思いました。

会員ペンリレー　一人旅雑感

甲府21ワイズメンズクラブ　相川貴宏

またペンリレーの依頼が来た。確か今年の 4 月にブリテンに記載した筈である。

今年は旅をしていない。10 年前、身体にメスを入れ爾来三月ごとに検診と、上手につき合ってきたはずの病に再発の恐れありと通告されガックリ。7~8 月平日連続 33 日間の放射線治療を受ける羽目になりました。勿論副作用はあります。後遺症ですかね。

"旅"は計画している時が一番楽しいです。時刻表のさくいん地図と首っ引きで旅をします。東北方面はサインペンで真っ赤です。平成 24 年以来 5 回東北へ旅しました。

私は乗鉄ですから名所旧跡、温泉の旅はしません。行帰りの新幹線とあずさ以外は普通車利用です。宿泊は駅前のビジネスホテル、夜飯は居酒屋で楽しみます。基本3泊4日ですので3回は酔っぱらいですがたまには土地の人と交流も出来ます。平成26年の久慈の居酒屋では本物の海女さんや市役所、大人の休日クラブの仲間たちと酌み交わす事が出来ました。

文庫本を3～4冊持っていきます。長い路線でいうと秋田―酒田147分（羽後本線）青森―八戸137分（青い森鉄道）八戸―久慈144分（八戸線）、山形鉄道荒砥駅では2時間折返し待ちでした。ボーとしているのも辛い時文庫本は良き友です。

旅行用の古い下着を用意し一日終わるとゴミ捨てします。帰りに向かうほど荷物が減っていきます。ちょっとした知恵です。

【私にとって東北旅の路線ベスト3】

①五能線（弘前―東能代）ここを走る「リゾートしらがみ」、一度は乗ってみたいローカル線として全国的に人気を集めています。この切符を手に入れる為発売一か月前の10時に石和駅の窓口へ旅程表を見せながら手配してもらいました。駅員さんが覚えていて一ヶ月後の出発日にお茶を差出しながら行ってらっしゃいを云ってくれました。

②秋田内陸縦貫鉄道（鷹巣―角館）南北縦長路線が多い中、横縦貫の珍しい路線です。まさに秋田の森林を掻き分けながら走ります。

③八戸線・三陸鉄道（八戸―久慈―宮古―釜石―盛）釜石、宮古間の山田線は不通のためバス運行です。平成26年に三陸鉄道南北リアス線が全面開通し乗りに行ってきました。盛駅は開通を祝い近隣の気仙沼や陸前高田の婦人会、老人クラブのお年寄りがバス仕立てで片道だけ乗りに来ており大賑わいでした。

来年も旅に行きたい。乗鉄旅は体に堪える様になってきましたので、3泊4日は変えず乗り継ぎ、乗り継ぎでなく滞在型を少し取り入れてもいいかなと思っています。病気や体と仲良くしながらこれから楽しみたいです。

第17回山梨県障害者フライングディスク競技大会に参加して

甲府21ワイズメンズクラブ会計　小澤公紀

好天に恵まれた小春日和を感じさせる11月18日（日）、県障害者フライングディスク協会主催による同競技会が小瀬の山梨中銀スタジアムにおいて10：00より開会式、引き続いて競技がおこなわれ甲府２１クラブも協賛、野々垣会長、同メネット、松村（豪）、同メネット、功刀、駒田、寺田、荻野メネット、藤原、小澤（公）の10名が参加しました。

例年より若干少なめの約80名の競技参加者の元「アキュラシー競技」と「ディスタンス競技」が行われ、大きな歓声と笑いの中で熱戦が続きました。

ところで、「アキュラシー競技」と「ディスタンス競技」ってわかりますか？簡単に説明します。（他にも競技種類がありますが今回行われたものです）

「アキュラシー競技」とは3～5m離れた場所から直径約1.5m位の的の中にディスクを通す競技です。又「ディスタンス競技」はディスクをできるだけ遠くに飛ばす競技となります。それぞれ5～6人がチームを作りその中で金銀銅の順位を競います。メダルは当クラブが寄贈したもので、その表彰式で「バンザイ三唱」を行いますが当クラブの会長はおよそ100回の万歳を行い、だいぶ声をからしておりました。いずれはパラリンピック競技にと協会では努力しているとのお話もありました。この競技は見るよりも楽しく行うスポーツであると感じました。

フライングディスク大会に参加した会員ら
＝2018年11月18日　甲府・山梨中銀スタジアム

YMCAだより　YMCAのりんごの木

山梨YMCA総主事　露木淳司

ＹＭＣＡでは、今年から甲府２１クラブの茅野峥メンの紹介で、北杜市須玉町の津金地区にある農園にりんごの木を一本所有することになりました。去る11月11日と18日に、フクロウくらぶ、きらきら教室、つぼみっこ、わいわい地球塾と4つのグループがりんご狩りを楽しみました。スーパーで買ってきたりんごしか食べたことのない子供たちにとって、たわわになった真っ赤なりんごを好きなだけ自分でもぐという体験は実に貴重なものです。山梨ではぶどうや桃は身近ですが、みかんやりんごはあまり見かけることはありません。食べ物の大切さを学ぶ意味でも大変有意義なプログラムとなりました。お土産もたくさんゲットして子供たちは大満足でした。

さて、この12月、中央市に新しいＹＭＣＡの拠点、「田富恵みの家」がスタートします。「岡島ぶどうの木」、「南西望みの家」に続き、山梨ＹＭＣＡの3つ目のブランチになります。発達障害の児童のための放課後デイサービスがメインの活動で、ここでのこの事業は「りんごの木」と名づけられました。広い敷地に立つ古民家で風情のある建物です。この庭に本物のりんごの木を植えて、いつの日か実際にりんご狩りができるようにしたいとスタッフ一同夢見ています。

【12月誕生者】
［メン］薬袋　勝（12月15日生）茅野　峥（12月17日生）　饗場　裕（12月20日生）
［メネット］寺田岸子（12月7日生）

【11月出席率】
第一例会出席者24名、第二例会出席者22名、メイキャップ他行事のみ参加者3名
出席者数30名　11月の出席率は100%

【会計報告】
・11月のニコニコ集計結果　18,616円　11月迄の合計198,808円　達成率79.5%
・バザー収益金　877,820円（内ディズニーチケット750,000円含む）11月までの合計886,570円　達成率175.5%

【今後の予定】
12月15日（土）松本クラブ創立30周年記念例会　第20回記念「アジア賞」授賞式
12月19日（水）第2例会